



康心会汐見台病院

# 産科だより

令和3年

## ◆和痛分娩について

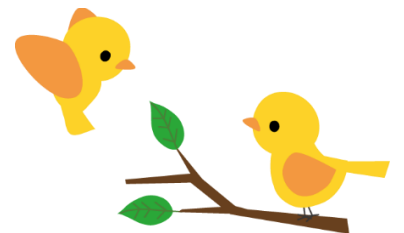
当院では和痛分娩を開始することになりました。ホームページにも掲載される予定ですが、産科だよりで先にご紹介いたします。

和痛とは、字のごとく、「痛みを和らげる」という意味です。そのため、陣痛の痛みや、赤ちゃんが産まれてくるときの痛みを完全に取り除くことはしません。

当院の和痛分娩は2種類使用します。

①傍頸管ブロック・子宮頸管（子宮の入り口）の近くの粘膜に局所麻酔を行い、神経の伝達を遮断することによって鎮痛する方法。  
②陰部神経ブロック・骨盤にある靭帯の後方に局所麻酔薬を注入することによって鎮痛する方法。

①は分娩第1期（子宮口全開まで）の痛みに効果があり、②は分娩第2期（赤ちゃんが産まれる時）の痛みにも効果があります。陣痛が強くなってきてから行うものになりますので、タイミングは医師が判断します。場合によっては①か②どちらかのみを行うこともあります。



## 【無痛分娩との違い】

無痛分娩は硬膜外麻酔を使用します。陣痛の痛みも和らげることができますため、痛みはとも楽になります。その反面、陣痛がわかりにくくなり、いきむタイミングがわからない、力が入りにくいなどのデメリットがあります。そのため、分娩時間が延長したり、促進剤の使用や吸引分娩などの医療介入が必要となるケースが多いです。和痛分娩の場合は局所的に鎮痛するため、陣痛の痛みはそのままだに、子宮口が広がっていく痛みなどを和痛していくため、可能な限り自然分娩を行うことができます。リスクとしては、局所麻酔中毒、アナフィラキシーショック、血腫、感染、痙攣、多量出血、神経障害などが挙げられますが、確率は高くありません。

## 【費用に関して】

麻酔の費用は1万円です。分娩進行中、麻酔をしても産まれるまでに至らず、効果が薄れてしまうことがあります。その場合、また麻酔を行うことができますが、何度行っても1万円です。

## 【よくあるご質問】

- Q. 和痛分娩はいつでもできますか？
- A. 他の患者様の緊急処置が必要な時などに

より（特に夜間、休日）和痛分娩を行えないこともあります。

- Q. 和痛分娩のできる日に計画出産することはできますか？

A. できません。自然分娩をモットーに行っていますので、基本的に出産は母子のタイミングに合わせていきたいと思っております。

今後準備が整いましたら、ホームページや妊婦健診でもご案内していき予定しています。ご希望の方は健診時にお申し出下さい。



## ◆今月の赤ちゃん



朝の沐浴中のひとコマ。  
沐浴に入った直後はすぐ泣いていたのですが、だんだん気持ちよくなってきて、出る時にはこの表情。極楽過ぎたのか、ピクリとも動かなくなりました（笑）この気持ちよさそうな表情をいつまでも眺めていたかったです、長風呂をしていると体力を消耗してしまうので惜しみながらも終了としました。

## ◆お知らせ

横浜市産後母子ケア事業に参入することになりました。詳細はお問い合わせください。また、来月号の産科だよりでもお知らせ致します。  
担当…郷原